

社会福祉法人 市川町社会福祉協議会

令和4年度 事業報告

法人運営事業

法人運営事業

評議員会、理事会の開催

評議員会、理事会を開催しました。

評議員会の開催 4回開催

5月

- ・監事の選任について（書面決議）

6月30日

- ・令和3年度市川町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計決算について

12月

- ・理事の選任について（書面決議）

3月31日

- ・令和5年度市川町社会福祉協議会事業計画(案)並びに一般会計予算(案)について



評議員会の様子

理事会の開催 5回開催

4月28日

- ・監事の選任に係る評議員会への推薦について
- ・評議員選任解任委員の選任について
- ・次回評議員会の議案と開催方法について

6月15日

- ・令和3年度市川町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計決算について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・評議員会の日時、場所及び議案について

12月

- ・理事の推薦について（書面決議）
- ・評議員の推薦について（書面決議）

1月31日

- ・副会長の選任について
- ・社会福祉法人に対する指導監査に係る改善措置について

3月24日

- ・令和5年度市川町社会福祉協議会事業計画(案)並びに一般会計予算(案)について

評議員選任・解任委員会の開催

理事会から推薦された評議員候補者について、評議員選任・解任委員会で審議、選任いたしました。

1 回開催

6 月 30 日

社協会費の納入

社協の貴重な自主財源である社協会費の納入を町民の皆さんに依頼しました。会費の使途を広く周知することで、皆さん一人一人に社協活動に関心を深めていただき、財政面から会費という形で社協活動にご参加いただきました。

・社協会費（10 月）1,753,000 円

各福祉団体の事務（老人クラブ、身体障害者福祉会、婦人共励会、手をつなぐ育成会）

各種福祉団体の事務を行いました。コロナ禍により活動が制限されましたが、感染対策を徹底し、福祉の充実に向けて取り組みました。

ホームページでの広報

行事案内や募集記事、活動の報告等を掲載し、社協活動に関する情報を発信し、町民の皆さんに活動への理解と参加を促しました。

地域福祉推進計画の評価と策定

地域福祉推進計画とは、地域の福祉課題を住民主体の立場から解決をめざすための長期計画です。本会では、令和 2 年度からの 5 カ年計画のもと、福祉活動に取り組みました。

社会福祉充実財産の再投下

社会福祉充実計画に基づいて、社会福祉充実財産を再投下しました。

- ・介護職員の処遇の改善
- ・災害避難用の拡声機を各自治会に配布 30 台
- ・福祉サービス利用に係る利用者負担金の減



手をつなぐ育成会による映画会



身体障害者福祉会による
グラウンドゴルフ大会



ホームページ



拡声機

共同募金配分金事業

共同募金配分金事業

共同募金運動の推進

赤い羽根共同募金運動（10月～12月）、歳末たすけあい募金運動（12月）を各区長様、町内事業所、学校等のご協力のもと推進し、募金の使途を広く周知することで運動の理解を促しました。

- ・赤い羽根共同募金 1,891,834 円
- ・歳末たすけあい募金 2,285,073 円



市川中学校

福祉活動への助成

募金による配分金で、サロン活動、福祉団体の活動、ボランティア活動、学校の福祉学習活動を支援し、財政面からサポートしました。

- ・ふれあいサロンへの活動助成 27 区 36 会場
- ・福祉団体への活動助成 5 団体
- ・ボランティアグループへの活動助成 8 団体
- ・学校での福祉学習への活動助成 6 校



老人クラブによる稲刈り体験

ふれあいサロン助成金給付会場数

No.	区名	会場数	No.	区名	会場数	No.	区名	会場数
1	西川辺	2	11	上瀬加	1	21	澤	1
2	川辺新町	1	12	下牛尾	2	22	美佐	2
3	浅野	1	13	上牛尾	4	23	鶴居	1
4	小畑	4	14	甘地	1	24	神崎	1
5	東川辺	1	15	近平	1	25	田中	1
6	西田中	1	16	小谷	1	26	小室	1
7	北田中	1	17	千原	1	27	屋形	1
8	上田中	1	18	谷	1	合計	36	
9	保喜	1	19	奥	1			
10	下瀬加	1	20	坂戸	1			

社協広報誌等の発行

社協広報誌等を発行し、全戸配布しました。

- ・市川町広報に情報提供 毎月 1 回
- ・「福祉いちかわ」の発行と配布 年 6 回
- ・高齢者番付表の発行と配布 9 月に発行



福祉いちかわ

地域活動用の貸出備品の購入

ふれあいの会等で活用いただける貸出備品（レクリエーション用具等）を新たに購入しました。

- ・的あてゲーム
- ・魚釣りゲーム
- ・ルーレットゲーム
- ・円形わなげ
- ・ボッチャ



歳末見舞金配布

在宅の重度身体障害者（1・2級）、知的障害者（在宅の手をつなぐ育成会員）、生活保護世帯、準要保護児童・生徒等の方を対象に、民生委員さんを通じて、歳末見舞金を配布しました。

・対象者 279 名 1,357,000 円

配布区分	人数
生活保護者	23
重度身体障害者	179
知的障害者	20
準要保護生徒・児童	55
介護用品支給事業対象者	2
合 計	279



レクリエーション用具

こどもサマースクールの実施

町内の小学生 4・5・6 年生を対象に夏休み期間中に福祉体験学習を開催しました。

・8月1日

内容 身体に障害がある方も楽しめる
ニュースポーツの体験
掛け時計づくり

参加者 28 名



ニュースポーツ体験

体験講座の実施

ものづくり体験講座を開催し、地域や世代間の交流を促進しました。

・12月18日

内容 正月飾りのフラワーアレンジメント

参加者 20 名



正月飾りづくり

シニア向けスマホ講座

スマートフォンに関する基本講座を実施し、社会参加の促進を図りました。

・9月16日

内容 アプリやラインの入門講座

参加者 9 名



スマホ講座

善意銀行運営事業

善意銀行運営事業

善意銀行の事務

町民の皆さんからの善意の預託を受付けました。また、預託いただいた金品を活用し、町の福祉向上をすすめました。

- ・ 善意の預託 205,848 円（預託 12 件および模擬店用品使用料 1 件ほか）

善意の日募金運動の推進

兵庫県では、6 月 1 日を「善意の日」と定め、福祉活動が展開されており、市川町社協においても各区長さんにご協力いただき善意の日募金を推進しました。また、募金の使途を広く周知することで運動への理解を促しました。

- ・ 善意の日募金 1,035,900 円

ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター運営事業

学校での福祉学習の推進

学校での福祉学習について、講師の紹介や職員の派遣、物品の貸出等の支援を行いました。

福祉学習への支援

支援内容	回数	内訳
講師紹介	3	手話体験 3
職員派遣	9	車いす体験 4 アイマスク体験 3 高齢者体験 2
学校への備品貸出	10	車いす 4 アイマスク 3 体験用装具 2 点字板 1



町内各学校での福祉学習



各学校から寄せられた
福祉学習の感想文



ボランティア連絡協議会の事務

町内のボランティアグループ間の交流を図り、さらに有意義な活動をしていただけるよう支援しました。

- ・代表者会議の開催 2回
- ・町内清掃活動 1回
- ・フードドライブへの協力 3日間

フードバンクはりま及び市川町が実施する食糧寄付の呼びかけと受付。

72名の方々から約580kgの食料と日用品を受付けました。

- ・ボランティア共済、県民ボランタリー活動助成の事務手続き

ボランティア連絡協議会登録グループ

No.	グループ名	活動内容
1	手話サークルやまびこ	手話通訳、聴覚障害者支援、啓発活動
2	あじさい	給食サービスにおける調理
3	とき	福祉施設での作業手伝い
4	リズムダンス・スイートピー	ふれあいサロン、福祉施設でのダンス指導
5	どんぐり	福祉施設でのお手伝い
6	えんどう豆	保育園、福祉施設での銭太鼓等の披露
7	ふくろう	給食サービスにおける弁当の配達
8	J A女性会ジャズ体操教室	福祉施設への訪問、踊りの披露



フードドライブ受付



ボランティア連絡協議会による清掃活動

災害ボランティアに関する取組

災害時のボランティア活動についての研修会を開催し、防災意識の向上を図りました。

- ・3月5日
- 内容 今から取組もう！防災講座
- 参加者 29名



防災講座

地域福祉事業

心配ごと相談所事業

毎月第2、第4金曜日の午後1時～3時に市川町役場前の就業改善センターで様々な心配ごとを受付ける相談所を開設し、町内の民生委員さん、人権擁護委員さん、行政相談員さん、社会教育委員さんに相談員としてご協力いただきました。5、9、12月に総合相談を行政との共催で開催し、その際には弁護士さんへの相談も受け付けました。

- ・心配ごと相談 第2、第4金曜日に開催
22回開催（うち3回は総合相談に参加）



心配ごと相談

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金とは、低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯などで一時的に生活に困窮している世帯に対し、必要な費用の一部を貸付ける制度です。社協では貸付窓口を開設し、行政やワーカーズコープ（労働者協同組合）、NPO 法人神戸の冬を支える会と連携をとりながら相談支援を行いました。

また、令和2年3月より窓口業務を開始した新型コロナウイルス特例貸付は、令和4年9月まで申請窓口業務を行い、終了後も貸付世帯からの生活に関する相談対応や、償還事務手続きの支援等を継続しております。

令和4年度実績

	貸付回数	のべ相談回数
通常貸付	0	85
コロナ緊急小口資金	5	
コロナ総合支援資金	5	
生活保護受給者への一時支援資金	0	

食料支援

フードバンクはりまの協力のもと、支援を必要とする世帯に1～2週間分の食料を届けました。

- ・6世帯 9回

生活保護受給予定者への一時支援資金貸付

市川町内の生活保護申請中の世帯で、食費や光熱水費など最低限必要な生活資金の融資を他から受けることが困難な世帯に対し、受給までの生活費について、貸付相談窓口を開設しました。



支援用食料

母子金庫運営事業

母子世帯の生活の安定と社会参加を図ることを目的とした資金貸付窓口を開設いたしました。

準保護支援事業

夏季見舞金配布

在宅の重度身体障害者（１・２級）、知的障害者（在宅の手をつなぐ育成会員）、生活保護世帯、準要保護児童・生徒等の方を対象に民生委員さんを通じて夏季見舞金を配布しました。

・対象者 282人 914,000円

夏季見舞金配布内訳

配布区分	人数
生活保護者	25
重度身体障害者	184
知的障害者	17
準要保護生徒・児童	54
介護用品支給事業対象者	2
合 計	282

善意の福祉機器貸出事業

介助が必要な方に福祉機器（車いす、介護用ベッド）を無料で貸出しました。ただし、介護保険の福祉用具レンタルの制度が利用できる方（介護度２・３・４・５の方）は介護保険を優先して利用していただいております。

また、ひとり暮らしに不安のある高齢者を対象とした緊急信号発信装置（あんしんコール）及び使用状況をスマートフォンで確認できる電球（みまもり電球）の貸出しについて、申請を受付けました。

福祉機器の貸出状況

機器	長期	短期
車いす	5	65
電動ベッド	11	0

新たに導入した福祉機器

- ・車いす 2台
- ※市川中学校および生命保険協会より寄贈
- ・電動ベッド 3台
- ・みまもり電球 5台



市川中学校からの車いす



あんしんコール



電動ベッド



みまもり電球

福祉車両貸出事業

介助が必要な方に車いす対応型福祉車両を貸出しました。

対象者 車いすを使用しなければ外出が困難な市川町在住の方

車両の種類 車いす対応福祉車両（軽自動車）

利用料金 走行距離に応じたガソリン代

・貸出回数 118 回 実利用者数 27 名



福祉車両

福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安のある方が地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用に関する手続きや苦情の申し立て、公共料金の支払い等の日常的な金銭管理について相談支援を行いました。

・契約件数 3 件 のべ活動回数 121 回
(相談回数含む)



給食サービス

給食サービス運営事業

ひとり暮らし、高齢者のみの世帯で自炊が難しい方に、安否の確認の意味もこめて月に 3 回お弁当（1 食 300 円）を配達しました。調理はボランティアさんに、配達には民生委員さん、ボランティアさんにご協力いただき、味や栄養、衛生面を考えた事業運営に努めました。また、令和 4 年度も、消毒や検温等を徹底し、新型コロナウイルス感染症の予防に取り組みました。

・ 27 回実施

（7～9 月は食中毒予防のため休止）

・ 1741 食（うち生活保護世帯 59 食）

給食配布のべ個数

区名	個数	区名	個数	区名	個数	区名	個数
西川辺	20	下瀬加 1	0	甘地	81	澤	54
西川辺南	0	下瀬加 2	54	甘地南	47	美佐 1	71
西川辺東	122	上瀬加 1	8	近平	0	美佐 2	45
浅野	95	上瀬加 2	99	小谷	8	鶴居	107
小畑	135	下牛尾 1	117	千原	27	神崎	109
東川辺	55	下牛尾 2	61	谷	0	田中	27
西田中	81	上牛尾 1	27	奥	41	小室	0
北田中	56	上牛尾 2	59	坂戸	12	屋形	115
上田中	3						
保喜	5						
合計	572	合計	425	合計	216	合計	528
合計	1741						

介護予防事業

大人の楽習塾

認知症予防に効果のある学習療法の教室を毎週火曜日に開催し、学習の習慣化を図りました。毎週の集まりが仲間づくりや交流の場となっております。令和4年度も消毒の実施やアクリル板の設置等、感染防止対策に取り組みました。

- ・開催回数 43回
- ・のべ受講者数 412名 実受講者数 13名 サポーター数 6名



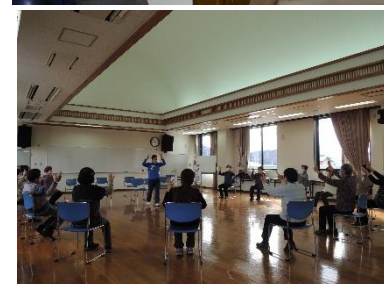
大人の楽習塾



大人のいきいき講座

様々なことをテーマとした講座を定期的に行い、健康や福祉等に関する啓発を行いました。

- ・5月17日
内容 認知症の基礎知識
参加者 21名
- ・7月12日
内容 認知症を予防するには
参加者 20名
- ・9月27日
内容 転倒の仕組みと予防
参加者 21名
- ・11月4日
内容 ハンドケア体験と補完代替医療
参加者 25名
- ・1月16日
内容 脳と体を若々しく保つ体操
参加者 14名
- ・3月1日
内容 心の不調とその予防
参加者 19名



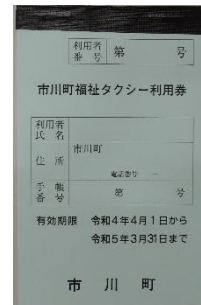
大人のいきいき講座

町受託事業

福祉タクシー事業

身体障害者手帳 1・2 級、および療育手帳 A 判定の方に福祉タクシー利用券（初乗り券）を発行しました。事業の契約を結んでいるタクシー会社で利用でき、1 人あたり年間最大 48 枚の利用ができます。

- ・実利用者数 18 名 307 枚の利用



福祉タクシー利用券

家族介護用品支給事業

住民税非課税世帯の介護度 4・5 の高齢者に介護用品を支給しました。

- ・実利用者数 5 名

寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

住民税非課税世帯の介護度 4・5 の高齢者を対象に寝具の洗濯を実施しました。

- ・実利用者数 1 名

外出支援サービス事業

高齢者のみの世帯や、独居の身体障害者 1・2 級で、公共交通機関の利用が困難な方を福祉車両で自宅から病院まで送迎しました。利用料は町内の往復 500 円、神河町、福崎町への往復 600 円です。令和 4 年度も、利用者の乗車時に検温と消毒を実施し、感染予防に努めました。



送迎用車両

地区ごとの利用者数

地区名	利用者数
川辺	16
瀬加	3
甘地	24
鶴居	19
合計	62

- ・実利用者数 62 名
- ・のべ利用回数 1096 回送迎（うち生活保護世帯 59 回）
 - 町内への送迎 440 回（うち生活保護世帯 27 回）
 - 町外への送迎 656 回（うち生活保護世帯 32 回）

身障訪問入浴事業

自宅の浴槽での入浴が困難な身体障害者の方を対象に、訪問入浴車での入浴サービスを行いました。

- ・実利用者数 2 名
- ・のべ訪問回数 181 回

地域支え合い推進事業

介護保険制度だけでは対処できない様々な暮らしの課題について、地域で自発的に取り組んでいただける体制づくりを支援しました。具体的には、ふれあいサロンへの訪問や用具貸出、連絡調整を行っておりますが、令和4年度は、コロナ禍によりサロン活動が実施困難な期間が続きました。各区の世話人の方々から、サロン運営についての相談に応じ、感染予防の徹底やサロン以外の地域福祉活動の紹介や啓発を行いました。

サロン活動への支援

町内各区で行われているサロン活動を支援しました。職員の派遣や、用具の貸出などを行いました。

- ・職員の派遣 11 回
- ・レクリエーション用具の貸出 51 回



ふれあいサロン各会場の様子

令和4年度ふれあいサロン 実施回数とのかべ参加人数

区名	回数	人数	区名	回数	人数	区名	回数	人数	区名	回数	人数
西川辺	0	0	下瀬加	3	35	甘地	9	112	澤	0	0
西川辺南	9	157	上瀬加	5	117	近平	9	89	美佐東	11	215
川辺新町	7	53	下岡	0	0	小谷	10	278	美佐西	10	110
浅野	4	132	市場	8	88	千原	10	192	鶴居	9	251
西小畑	11	82	河内	6	100	谷	8	155	神崎	4	108
東小畑	9	71	岩戸	9	79	奥	8	172	田中	7	84
南小畑	5	54	半瀬	6	86	坂戸	3	72	小室	9	266
小畑御舟	2	20	塩谷	6	65	県住	0	0	屋形	8	163
東川辺	4	136	寺家	3	47						
西田中	11	144									
北田中	8	120									
上田中	11	249									
保喜	6	349									
合計	87	1567	合計	46	617	合計	57	1070	合計	58	1197
									総合計	248	4451

介護保険等事業

居宅介護支援事業

介護保険サービスを利用するための計画（ケアプラン）を作成しました。利用者の思いを聞きながら、その人の身体状況や周囲の環境に合わせた最適な計画を作成し、サービスを円滑に利用できるよう関係機関との連絡調整を行いました。また、近隣の方々にもご協力いただき、地域ぐるみの支援を行いました。

また、令和 3 年度につづき、介護現場での新型コロナウイルス感染予防を徹底するとともに、スムーズな事業運営に努めました。

- ・ のべ計画作成数 604 件

訪問介護事業

自分や家族だけで日常生活を営むことが難しくなった要支援者・要介護者に対して、訪問介護員がご自宅を訪問し、可能な限り自立した生活を送ることができるよう掃除、洗濯、調理等の援助（生活援助）や入浴、排泄、食事等の介護（身体介護）を行いました。

生活援助は、日常生活の援助であり本人にかわり身の回りのお世話を中心とするサービスです。具体的には調理、掃除、洗濯、衣類の整理、生活必需品の買い物、薬の受取などを行います。

身体介護は、利用者の身体に直接接触して行われるサービスです。食事介助、衣服の着替え援助、入浴介助、トイレ誘導やオムツ交換などの排泄介助、身体の清拭、体位変換など、利用者の体に直接触れて援助を行います。

なお、訪問介護は、要介護者ができないことを援助することが基本で、援助しなくても日常生活に支障がない行為や日常的な家事の範囲を超える援助等（本人以外の食事や買い物・洗濯、ペットの世話や庭の手入れ等）は介護保険の給付対象となりません。

また、令和 4 年度は、神河町社協と合同で、介護技術の基礎を学ぶ研修である「介護職員初任者研修」を 20 日間にわたり実施いたしました。

- ・ のべ訪問回数 5,189 回
- ・ 介護職員初任者研修受講者 8 名（うち市川町内から 6 名受講）

訪問入浴介護事業

自宅での入浴が困難な要介護の高齢者を対象に、訪問入浴車で入浴サービスを行いました。具体的には、自宅のベッドのそばに浴槽を運び、車内のボイラーで温めたお湯を使って入浴介護を行いました。

- ・ のべ訪問回数 450 回



訪問入浴車

障害者福祉サービス事業

障害者相談支援事業

障害（身体・知的・精神）のある方の、仕事や生活、将来等様々な相談に応じ、その上でご本人の心身の状況、周囲の環境等に合わせて、福祉サービス利用計画を作成しました。また、サービスを円滑に利用できるように、関係機関との連絡調整を行い、利用者のニーズをこまめに聴き取りました。

また、本事業につきましても、介護保険同様に感染予防を徹底するとともに、コロナ禍でのスムーズな事業運営に努めました。

- ・ のべ計画作成数 88 件

障害者訪問介護事業

介護が必要な障害（身体・知的・精神）のある方の生活を支えるため、訪問介護員が家庭を訪問し、食事介助、排泄介助、入浴介助、更衣介助、整容、身体的清拭等の身体介護と、掃除、ゴミ出し、洗濯、買い物等の生活援助を行いました。

- ・ のべ訪問回数 834 回